

## 財団法人京都市国際交流協会の概要

財団法人京都市国際交流協会は、以下の設立趣意のもとに、京都府知事の許可を受けて1989年1月18日設立された公益法人です。

### 設立趣意

近年の技術革新は日々新たな展開を見せ、交通・通信網の飛躍的な発達により、世界はますます近く、小さくなり、地球的視野の保持なくして何人たりともその生存と福祉の向上を図ることが困難になりつつある。加えて我が国は、戦後急速な経済発展を成し遂げる中で国際社会において果たす役割も増大し、真に世界に開かれた日本社会の実現、すなわち国際化が今日の重要な課題となっている。

国際化を推進するためには、国レベルの協力・交流のみならず、都市と都市、市民と市民等多様なレベルでの国際交流の展開が求められている。中でも地域における国際化は、人と人との交流、心と心の交流を通して市民一人ひとりが世界に目を開き、相互理解と友好親善関係を深め地域の活性化を促進するとともに、ひいては世界平和の維持増進にも貢献し得るものとして、今後ますますその役割は大きくなると考えられる。

京都は、平安京創建以来、千年の都として輝かしい歴史と伝統を有し、世界に誇り得る日本文化の中心地として、さまざまな国際的舞台上で注目されてきた。長い歴史を経て織りなされた日本文化の真髄に触れようと京都を訪れる外国人も、国賓、公賓をはじめ観光客、留学生等毎年数十万人に上る。こうした伝統を生かしつつ21世紀への新たな飛躍を図るべく、京都市は1978年「世界文化自由都市宣言」を行い、広く世界と文化的に交わることによって、優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市を目指している。

財団法人京都市国際交流協会は、京都市国際交流会館を拠点として、京都において多様な国際交流事業を行うことにより、諸外国市民との相互理解・友好交流を促進し、もって京都の国際化、わが国の国際化に寄与しようとするものである。

## 世界文化自由都市宣言

都市は、理想を必要とする。その理想が世界の現状の正しい認識と自己の伝統の深い省察の上に立ち、市民がその実現に努力するならば、その都市は世界史に大きな役割を果たすであろう。われわれは、ここにわが京都を世界文化自由都市と宣言する。

世界文化自由都市とは、全世界のひとびとが、人種、宗教、社会体制の相違を越えて、平和のうちに、ここに自由につどい、自由な文化交流を行う都市をいうのである。

京都は、古い文化遺産と美しい自然景観を保持してきた千年の都であるが、今日においては、ただ過去の栄光のみを誇り、孤立して生きるべきではない。広く世界と文化的に交わることによって、優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市でなければならない。われわれは、京都を世界文化交流の中心にすえるべきである。

もとより、理想の宣言はやさしく、その実行はむずかしい、われわれ市民は、ここに高い理想に向かって進み出ることを静かに決意して、これを誓うものである。

1978年10月15日

京 都 市

## 組織 (2009年5月28日現在)

### 役員 (会長・顧問・理事・監事)・評議員・運営委員名簿

#### 1. 会長1名・顧問3名

役職名	氏名	職名
会長	門川 大作	京都市長
顧問	山田 啓二	京都府知事
同	富 喜久夫	京都市会議長
同	立石 義雄	京都商工会議所会頭

#### 2. 理事 16名

役職名	氏名	職名
理事長	千 玄室	裏千家前家元
専務理事	高木 壽一	
理事	天江 喜七郎	財団法人国立京都国際会館館長
同	梅原 猛	国際日本文化研究センター顧問
同	大谷 光真	日本国際連合協会京都本部長
同	尾崎 裕	大阪ガス株式会社代表取締役社長
同	川口 清史	立命館大学総長
同	佐々木 丞平	京都国立博物館館長
同	潮江 宏三	京都市立芸術大学学長
同	中村 昇	京セラ株式会社取締役相談役
同	八田 英二	同志社大学学長
同	細見 吉郎	京都市副市長
同	松本 紘	京都大学総長
同	三木 繁光	財団法人三菱UFJ国際財団理事長
同	森 詳介	関西電力株式会社取締役社長
同	湯浅 叡子	財団法人千里文化財団専務理事